

# 「意図」の流体力学

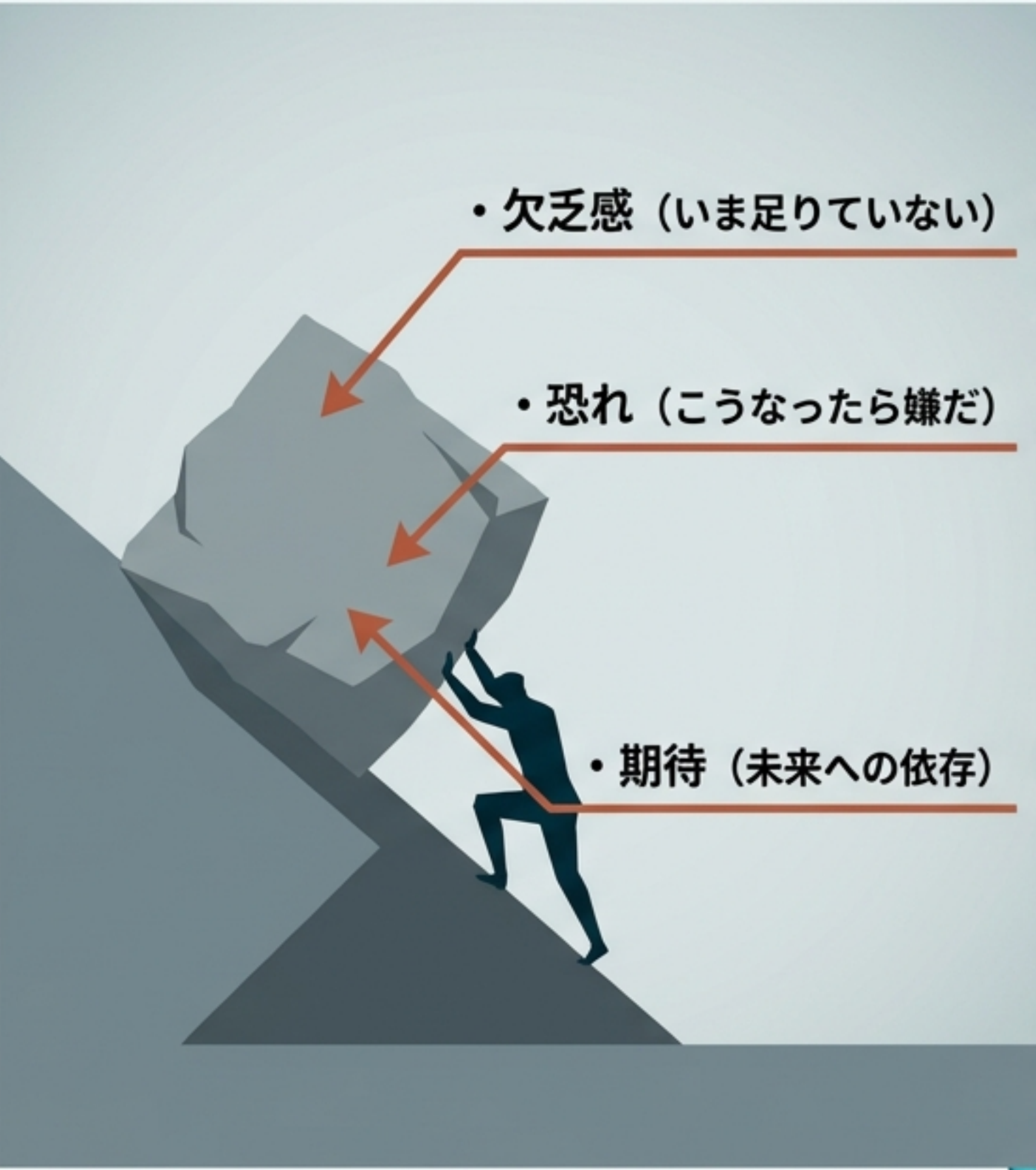
エゴのコントロールを手放し、大いなる流れに同調する

## 私たちが信じてきた「意図」の正体

多くのビジネスパーソンやクリエイターが「意図する（目標を設定する）」という言葉を使います。しかし、その99%は「真の意図」ではありません。

それは「願望（Expectation）」であり、「状況をコントロールしたい」というエゴの欲求です。

目標達成に疲弊する理由。それは、あなたが『流れに逆らっている』からです。



・ 欠乏感（いま足りていない）

・ 恐れ（こうなったら嫌だ）

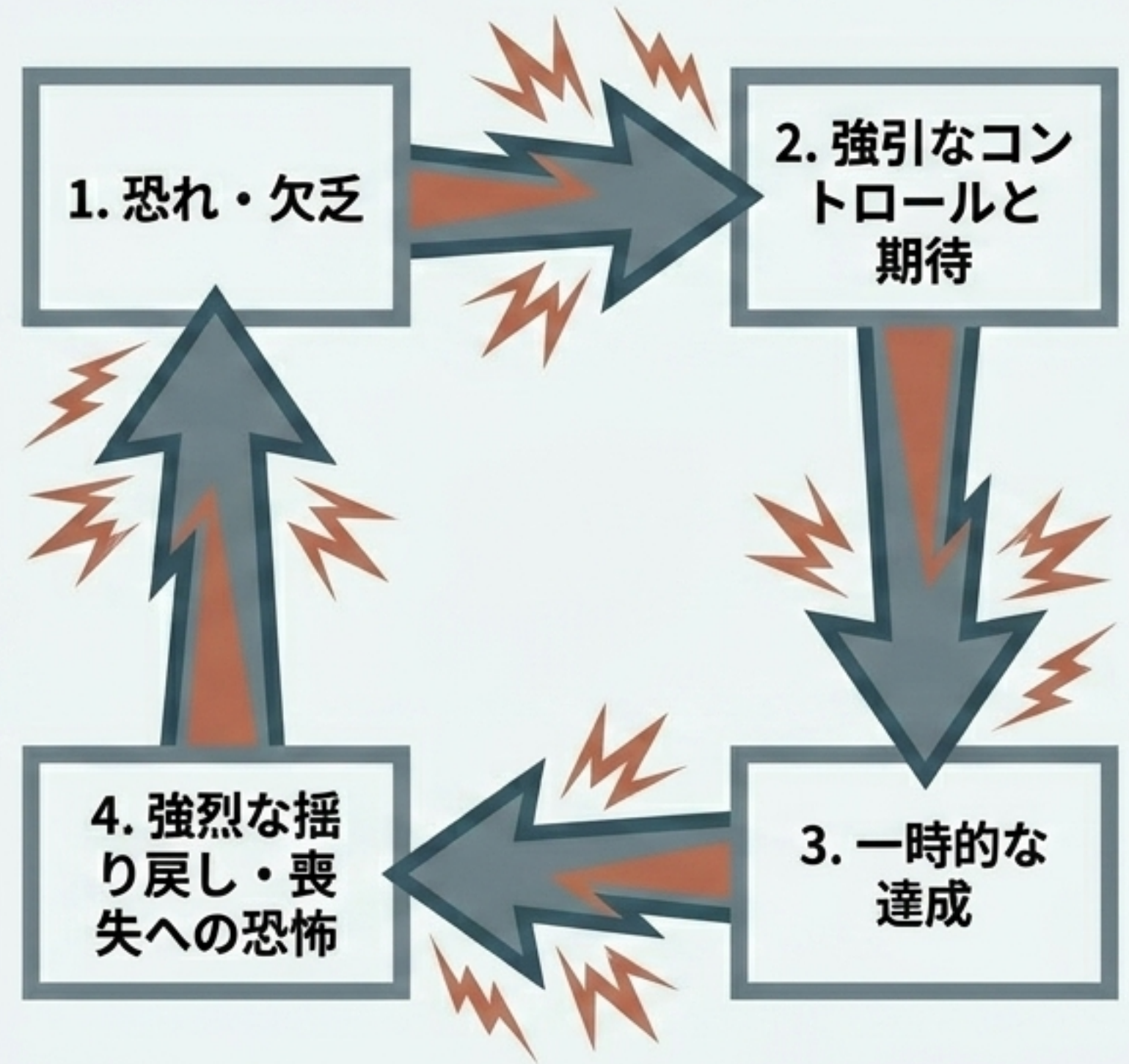
・ 期待（未来への依存）

# エゴのゲームには、 必ず「揺り戻し」が来る

気合いや根性、あるいは恐れに基づく「引き寄せ」で一時的な成功（売上増など）を得ても、必ずゲームのやり直しを迫られます。

なぜなら、エゴ（自我）の基本OSは「自己保存」だからです。

未来を強引にコントロールしようとする行為は、宇宙の自然な流れに対する「強い抵抗（摩擦）」を生み出します。



# 意図の正体を見破る：2つのオペレーティングシステム

あなたは今、どちらのOSで動いていますか？

一般的な意図（自我の願望）

真の意図（大いなる流れ）

正体

Expectation（期待・執着）

Intention（方向性・流れへの同調）

源泉

欠乏と恐れ（コントロールしたい）

宇宙の力学・愛エネルギー（委ねる）

時間軸

未来への依存（今はダメだ）

現在の位相との完全な一致

状態

抵抗・摩擦・力み

無為自然・エントロピーの最小化

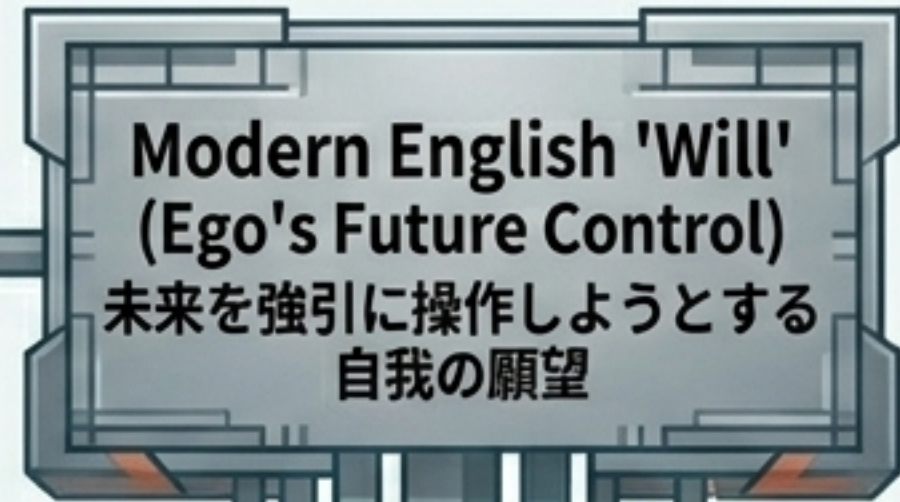
# 哲学と語源が示す 「Will (意図)」の本来の姿

英語の助動詞「Will (未来形)」は、元々「意志・意図」を表す名詞から派生しました。しかし、その源流を辿ると、自我の願望とは全く異なる概念に行き着きます。

老子の『**タオ (道)**』と『**無為自然**』  
何ら**作為 (コントロール)**をせず、  
ただ宇宙の自然な働きに身を任せること。

The Great Flow  
Zero Point Field

ショーペンハウアーの『**意志**』(Will)  
自我の視点からは**コントロール不能な**、  
**盲目的**で**巨大な生命のエネルギー**。



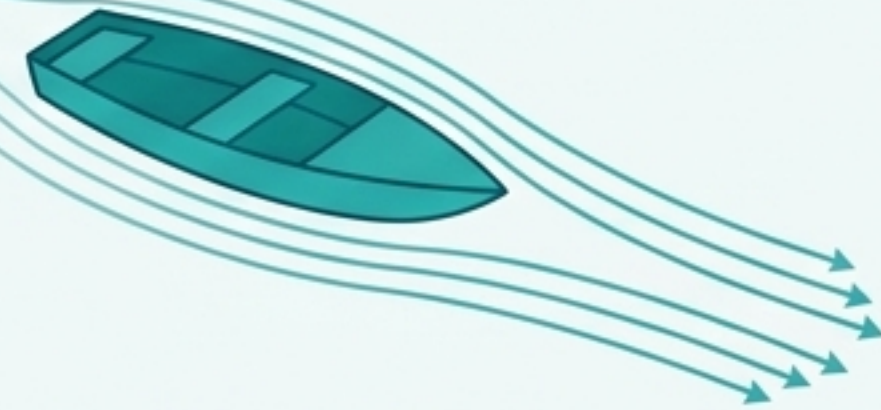
# 「流体力学」としての意図

真の意図とは、願望を叶えることではありません。  
大いなる愛の流れに対し、自分（ミー）の「ズレ」をなくし、同調することです。

自我の意図（エントロピーの増大・コントロール）



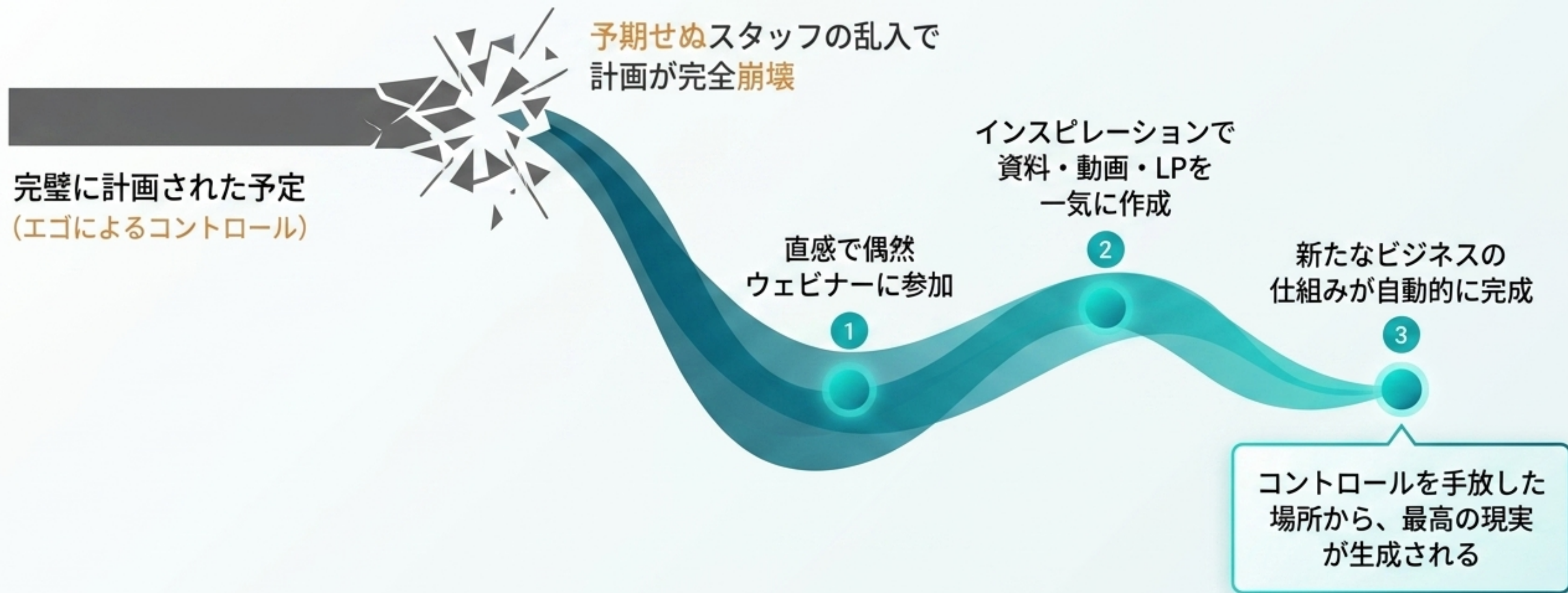
真の意図（エントロピーの最小化・自然な降下）



愛のエネルギー / The possibility waves of the Zero Point Field

意図する = 自分のズレをなくし、最もスムーズな流れに乗ること。

# 予定の崩壊は、最適なルートへの案内板

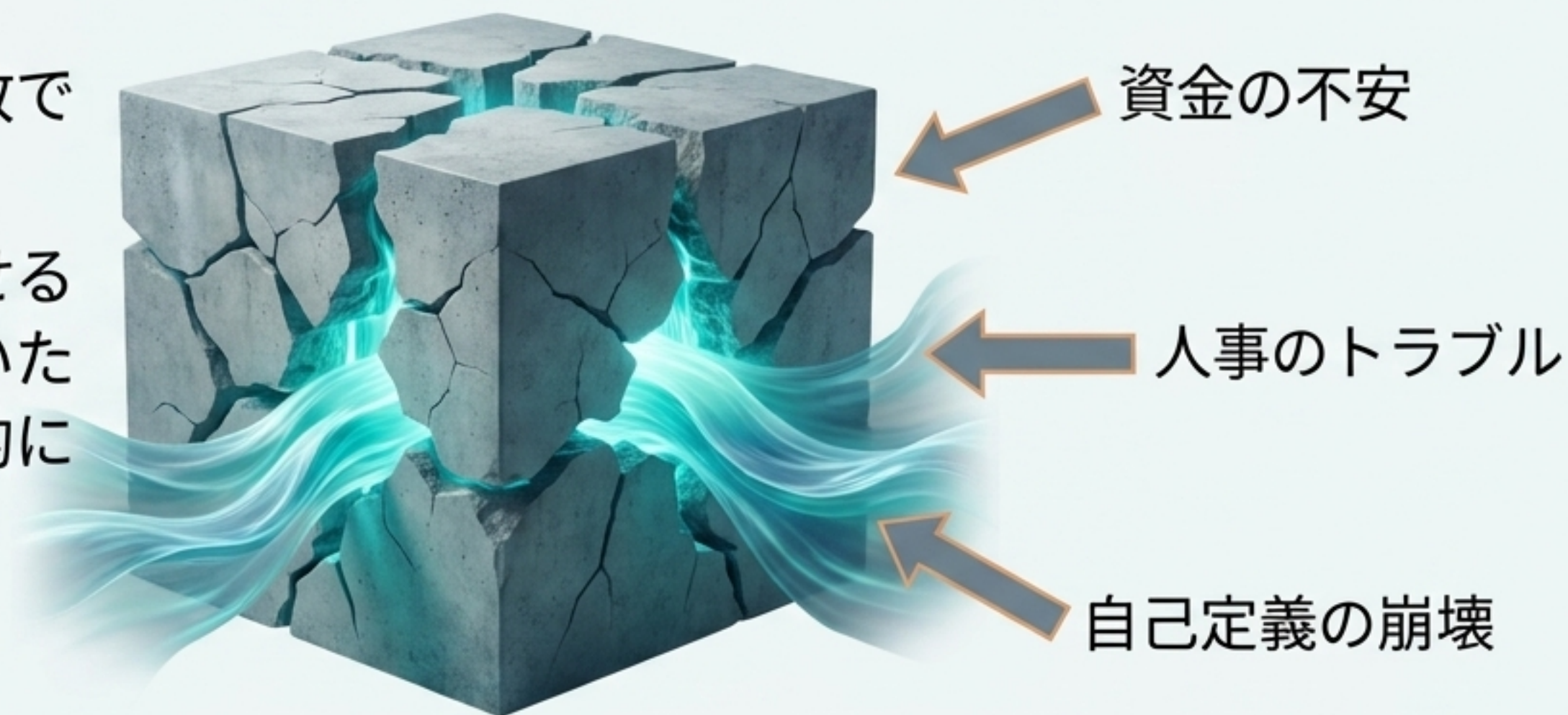


# 一見「破壊的」に見える出来事の意味

大いなる流れに同調する過程で、ビジネス上の危機や人間関係のトラブルなど、自我が最も恐れる「自己定義の崩壊」が起きることがあります。

しかし、それは罰でも失敗でもありません。

あなたを最適な流れに乗せるため、エゴが握りしめていた「不自然な構造」を強制的に再構築（リビルド）する、必然的なプロセスです。



抵抗しなければ、すべては綺麗に再構築され、流れていく

# バシヤールの公式：流れを乗り越こなす5つのステップ

原因と結果の直線的な作業ではなく、結果を手放し、  
エネルギーを循環させるループ構造です。

**【Step 3】**  
手放す  
(No insistence on  
the outcome)

**【Step 4】**  
信頼する  
(Remain positive)

**【Step 2】**  
乗り越こなす  
(Take it as far as  
you can)

**【Step 1】**  
キャッチする  
(Act on your passion)

**【Step 5 / Base OS】 観念の浄化 (Examine your beliefs)**

# Input：エネルギーの言語を翻訳する

【Step 1】 Act on your passion (直感で動く)

大いなる流れは「これをやれ」と言葉では指示しません。それは「好奇心」「面白そう」というEnergetic Language (エネルギーの言語) として訪れます。

【Step 2】 Take it as far as you can (限界までやり切る)

無理なTo-Doリストをこなすのではなく、時間を忘れるほどの「フロー状態 状態」で自然と進んでしまう感覚が正解です。



**×** 目標から逆算した苦しいTo-Do



**○** エネルギーの導きによるフロー状態の作業

# Output：ナラティブ生成AI（自我）を停止させる

【Step 3】 No insistence on the outcome（結果を手放す）

「この作業をすれば、この結果が出る」という期待を手放す。原因と結果で世界を縛るのをやめ、ただ楽しさにエネルギーを流し続ける。

【Step 4】 Remain positive（プロセスを信頼する）

自我は「ナラティブ生成AI」です。一時的に結果が出ないと、すぐに「失敗だ」と意味付けを急ぎます。判断せず、ただ通過させましょう。

自我 / ナラティブ生成AI



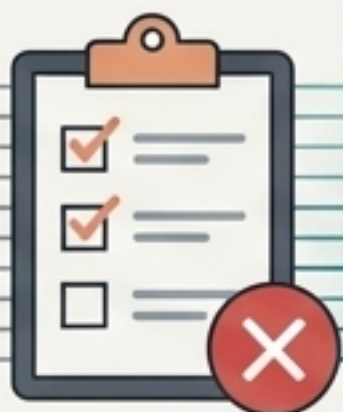
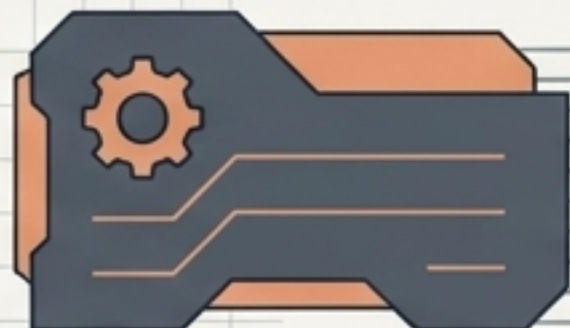
現実はまだ毎瞬レンダリングされているだけ。エゴによる『意味付け』の介入を防ぐ。

# 究極の選択：あなたは今日、どちらのゲームで遊びますか？

これまで私たちが教わってきた「気合いと根性」の努力は、エゴのゲームでした。  
しかし今、新しいゲームに移行する準備ができています。

## 『Game of Control (自我のゲーム)』

- 原動力：恐れ、欠乏感、他者との比較
- アプローチ：未来を期待し、強引に状況を操作する
- 体感：常に摩擦があり、重く、揺り戻しに怯える
- ゴール：一時的な達成感と、終わりのない自己保存



## 『Game of Creation (流体力学のゲーム)』

- 原動力：純粋な愛、好奇心、エントロピーの最小化
- アプローチ：現在の流れに同調し、結果を完全に手放す
- 体感：フロー状態、軽やかさ、無為自然
- ゴール：想像を絶する最適な現実の「自動生成」



意図するとは、  
未来を強引に引き寄せることではない。

今この瞬間の大いなる流れに対し、  
「1ミリのズレもなく同調する」ことである。

